

2023年8月22日

## お客さま本位の業務運営に関する取組状況および K P I 実績値の公表について

J Aグループは、食と農を基軸として地域に根ざした協同組合として、助け合いの精神のもとに、持続可能な農業と豊かで暮らしやすい地域社会の実現を理念として掲げています。

当組合では、経営方針で「地域農業の振興を通じて農業所得の向上を図り、地域社会に貢献する」という J A 本来の目的を実現する J A を、更には「地域との共生、安全・安心で求められる農畜産物の提供」を基本に据える生産販売農協として「地域に不可欠な J A」を目指しております。そうした理念のもと、「お客さま本位の業務運営に関する取組方針」を公表するとともに、組合員・利用者の皆さまの安定的な資産形成に貢献するための具体的な取組みを実践しており、今回その取組状況を公表いたします。

また、上記とあわせ「お客さま本位の良質な金融商品・サービスを提供する金融事業者をお客さまが選ぶ上で比較することのできる統一的な指標」（「比較可能な共通 K P I」）も同時に公表いたします。

唐津農業協同組合

# I.取組状況

## 1 お客さまへの最適な商品提供 【原則2本文および(注)、原則3(注)原則6本文および(注2、3)】

- 特定の投資運用会社に偏ることなく、社会情勢や手数料の水準等も踏まえたうえで、お客さまの多様なニーズにお応えし、長期安定的な資産形成・運用に資する最適な投資信託を取り扱っております。なお、当組合は、金融商品の組成に携わっておりません。
- JAバンク全体では商品新規導入を行う際は、第三者評価機関からの意見を伺いながら、お客さまのニーズに合った商品を取入れ、パフォーマンスが芳しくない場合は取扱いを行わない等、定期的な商品ラインアップの見直しを行っております。それにより商品数が増減いたします。

### <投資信託の取扱い商品ラインナップ(2023年3月末時点)>

カテゴリ	国内	海外
債券型	1 (前年度末:1)	3 (前年度末:3)
株式型	3 (前年度末:3)	5 (前年度末:5)
REIT型	2 (前年度末:2)	2 (前年度末:2)
バランス型	7 (前年度末:7)	

### <商品選定の考え方>

お客さまに提供する投資信託商品の選定にあたっては、JAバンクの全国機関である農林中央金庫における以下の基準に則して「JAバンクセレクトファンド」を取扱商品としております。

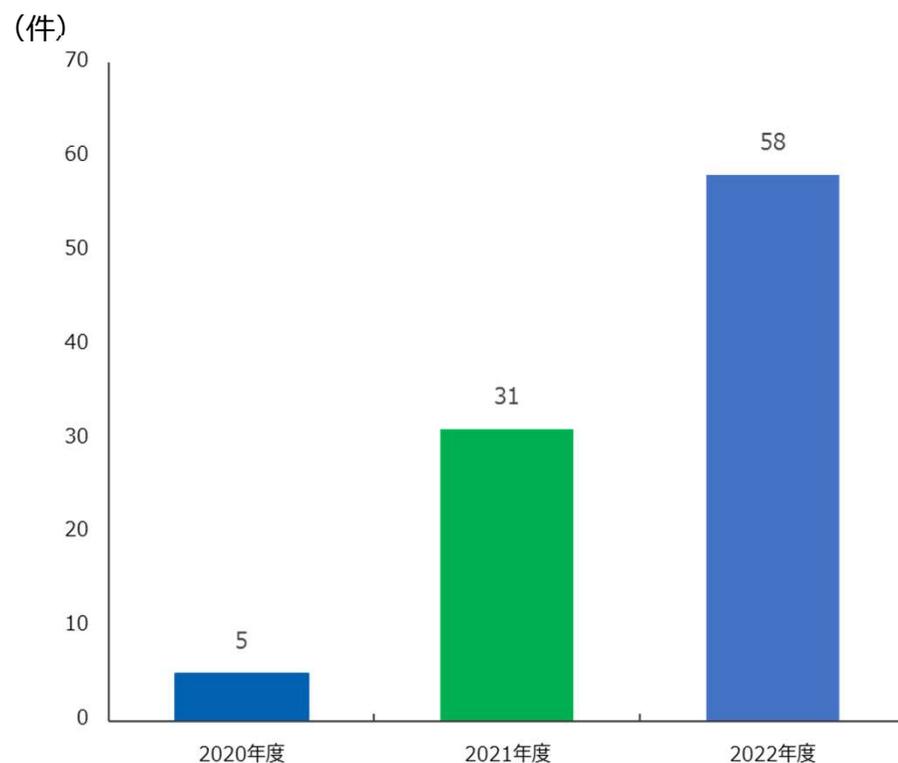
- ①「長期投資を前提とした商品性」
- ②「相対的に良好な運用実績」
- ③「良心的な手数料設定」
- ④「過去の運用実績の再現可能性」
- ⑤「過度な分配を追及しない運用方針」

# I.取組状況

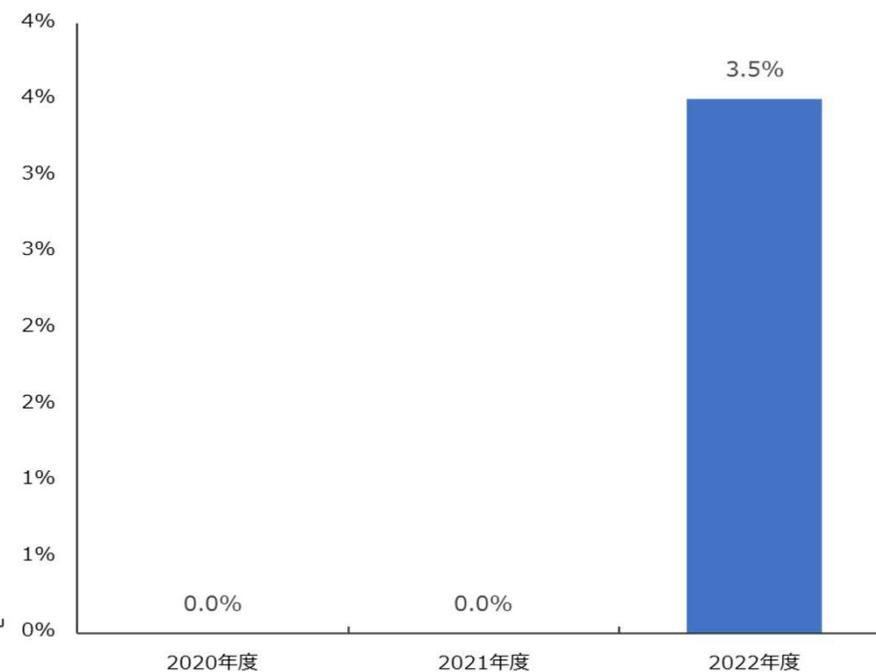
## 2 お客様本位のご提案と情報提供①【原則2本文および(注)、原則5本文および(注1～5)、原則6本文および(注1、2、4、5)】

- お客様に安定的な運用成果をご享受いただくために、お客様の金融知識・経験・財産、ニーズや目的に合わせて適切な情報提供を行った結果、「投信つみたて」および「毎月分配型ファンド」を利用されるお客様がともに増加しました。

＜投信つみたて契約件数の推移＞



＜購入額に占める毎月分配型ファンドの比率＞



# I .取組状況

---

## 2 お客様本位のご提案と情報提供②【原則4、原則5本文および（注1～5）、原則6本文および（注1、2、4、5）】

- お客様の投資判断に資するよう、商品のリスク特性・手数料等の重要な事項について分かりやすくご説明し、必要な情報を十分にご提供するために、以下の取り組みを行い、最適な提案と分かりやすい情報提供を実施しました。
- なお、2022年4月から重要情報シートを導入しております。

### 【最適な提案と情報提供に向けた主な取り組み】

- 資産形成・運用の必要性や投資信託の仕組、運用環境、リスク、長期・分散投資の有効性等、「資産運用ガイダンス」に沿って適切な説明を行います。
- J Aバンク資産運用スタイル診断シートを用いてお客様のリスク許容度を踏まえ、最適な商品・サービスを提案いたします。
- ご高齢のお客様には、原則として家族同席のうえ、より慎重かつ丁寧な対応により商品に対する理解度の十分な確認を行ないながら説明いたします。
- J Aバンクセレクトファンドマップ等を活用し、簡潔かつ分かりやすい情報提供を行います。

# I.取組状況

---

## 3 利益相反の適切な管理 【原則3本文および(注)】

- **当組合**では、お客さまへの商品選定や情報提供にあたり、お客さまの利益を不当に害することがないように、「利益相反管理方針」に基づき、適切に管理しております。
- **対応方針に基づく利益相反管理態勢の妥当性について定期的に検証を行います。**

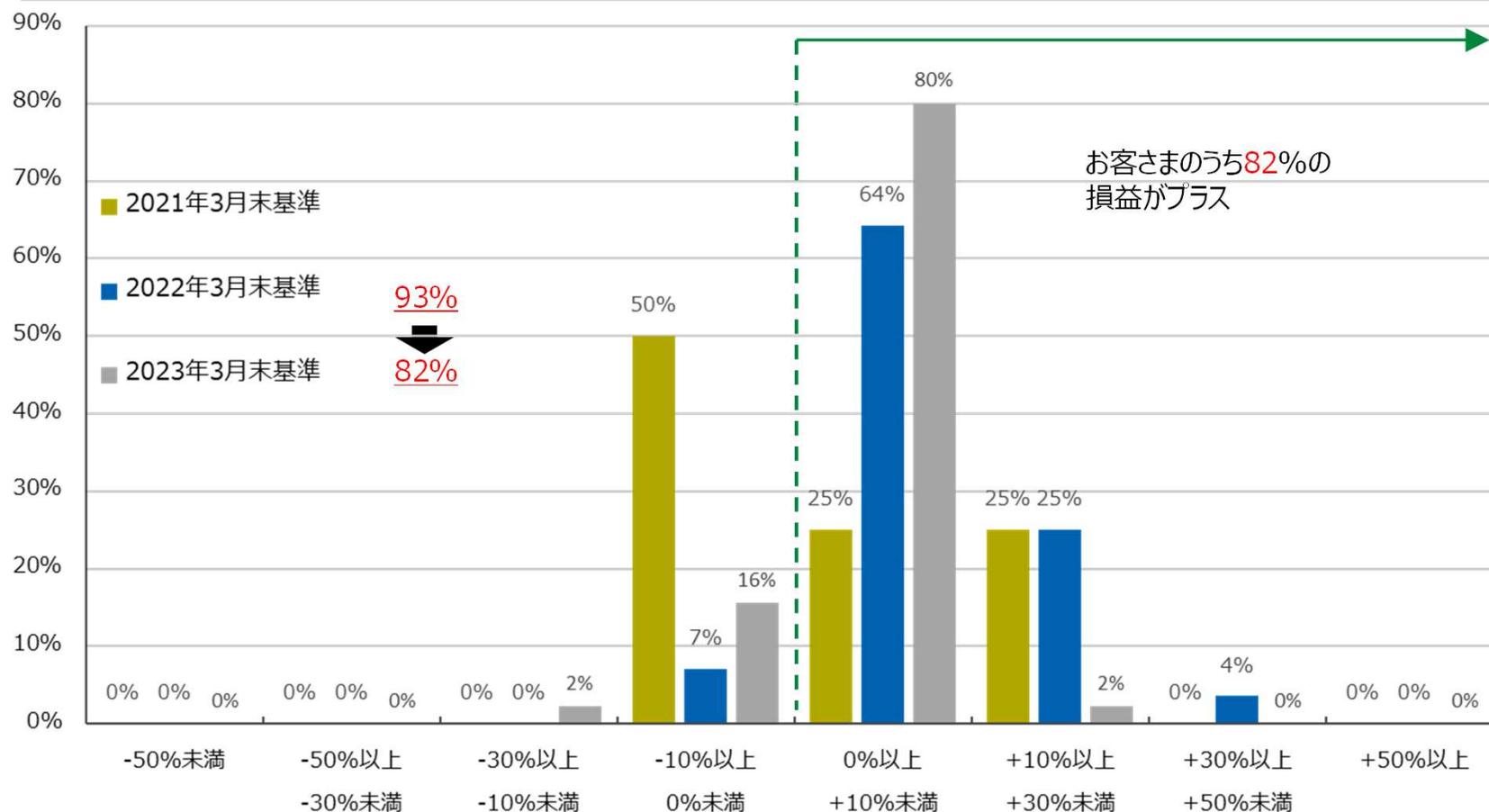
## 4 お客さま本位の業務運営を実現するための人材の育成と態勢の構築 【原則2本文および(注)、原則6(注5)】【原則7本文および(注)】

- **当組合**では、高度な専門性を有し誠実・公正な業務を行うことができる人材を育成し、お客さま本位の業務運営を実現するための態勢を構築するため、各種研修や勉強会の実施、資格の取得を推進しております。
- **人材育成にあたっては、以下の取り組みを行っております。**
  - **専門性を有する人材育成の一環として、登録外務員等は全国システムによる再研修を毎年受講しております。**
  - **資産形成・運用提案にかかる知識および提案話法の習得を目的とし、農林中金アカデミーが開催する専門家による研修を受講いたします。**

## Ⅱ.比較可能な共通KPI

### 1 運用損益別顧客比率（投資信託）

- 「運用損益別顧客比率」は、お客さまへ長期・分散投資やつみたて投資をご提案してきたことにより、2023年3月末時点では全体の82%のお客さまの損益がプラスとなりました。

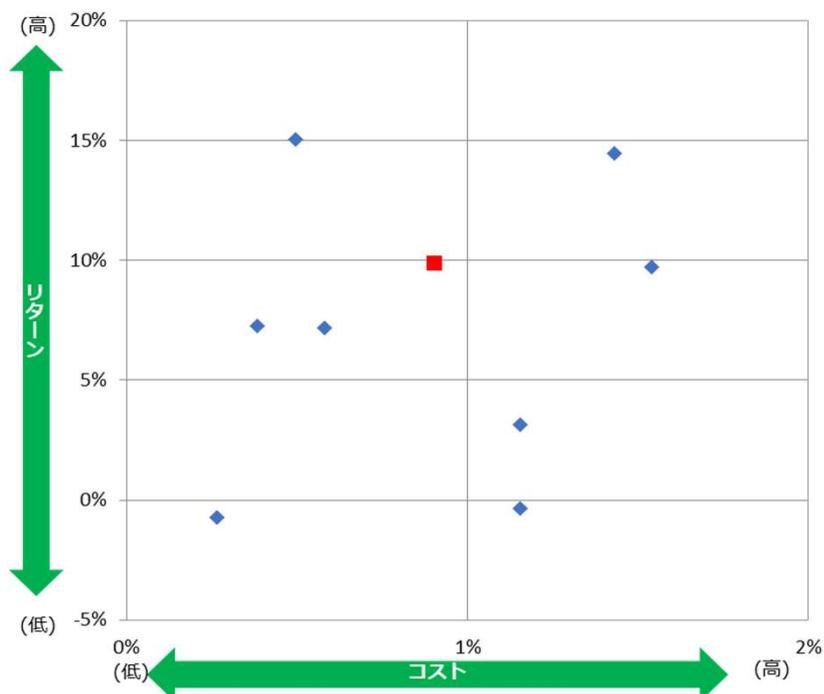


## Ⅱ.比較可能な共通K P I

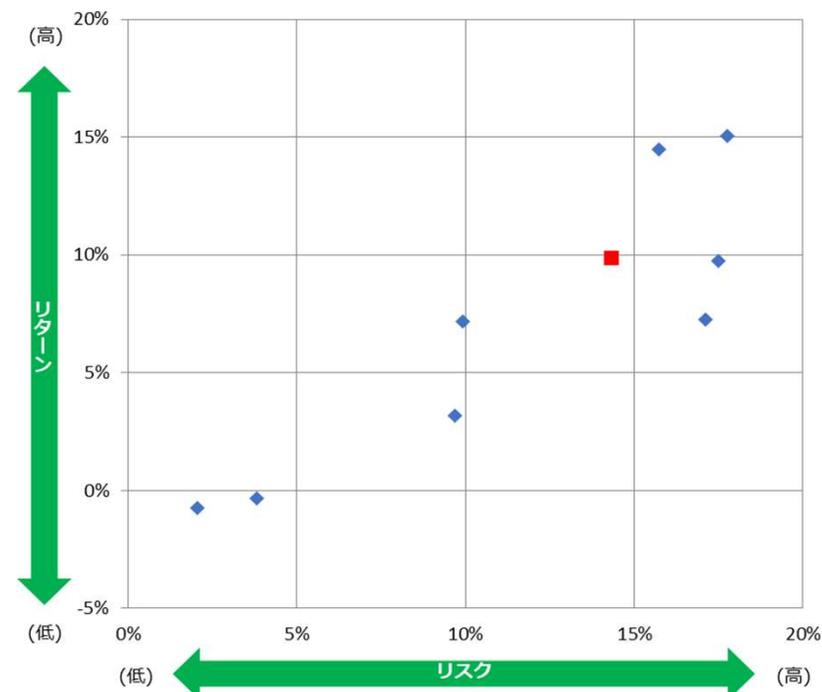
### 2 投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン/リスク・リターン (1/3) (2023年3月末)

- J Aバンクでは、取扱うファンドの運用実績をお客さま本位の業務運営の観点に基づきチェックし、運用実績が優良なファンドを選定しております。
- 2023年3月末時点の預り残高上位20銘柄の平均コスト**0.90%**、平均リスク**14.33%**に対して、平均リターンは**9.87%**でした。

<預り残高上位20銘柄のコスト・リターン>



<預り残高上位20銘柄のリスク・リターン>

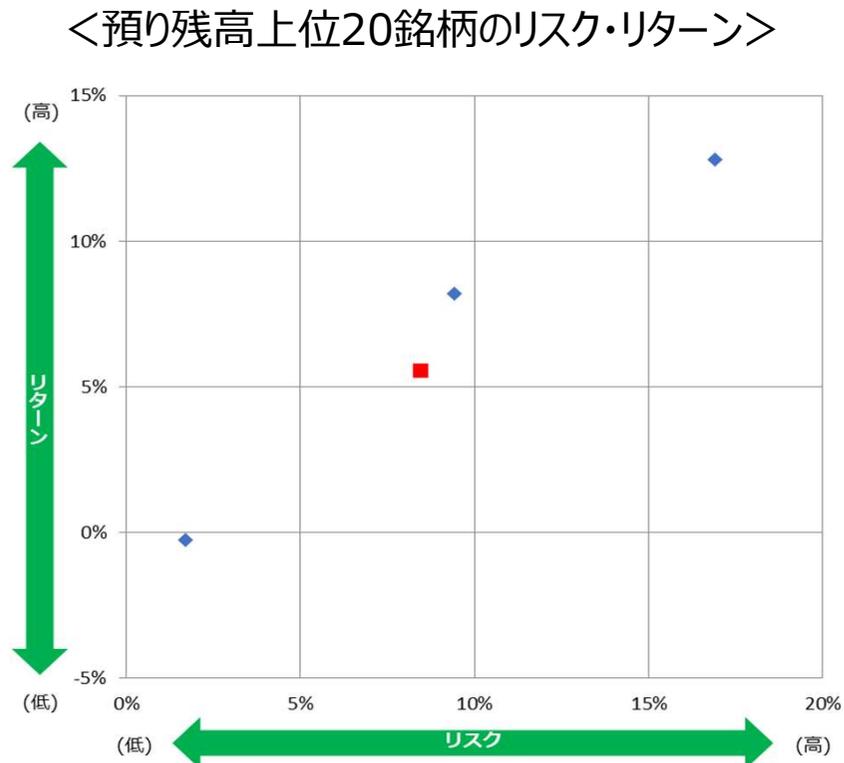
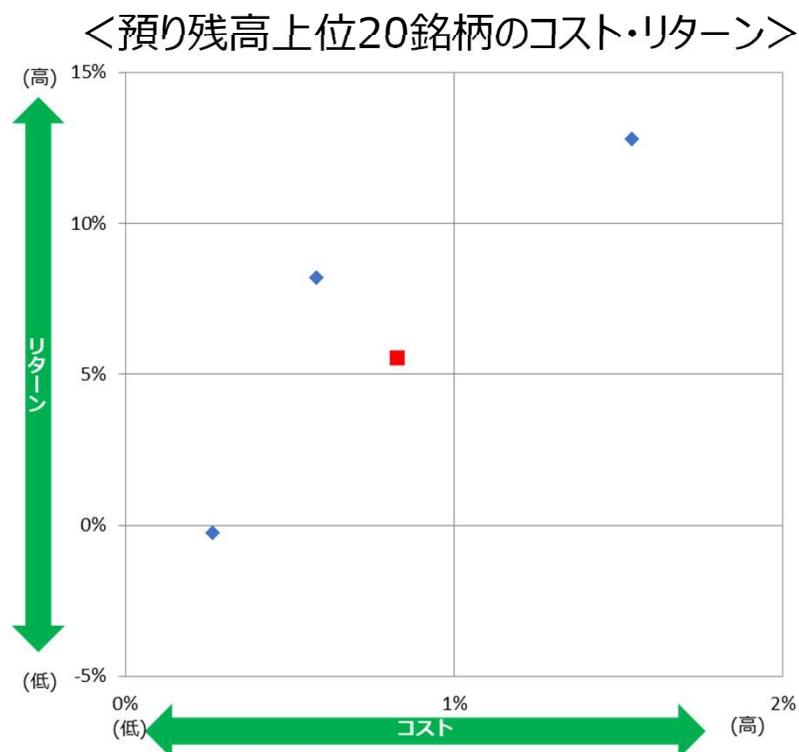


※ 各ファンドのコスト・リスク・リターンは、次のページに記載しております。  
※ 赤い点は平均値を示しています。

## Ⅱ.比較可能な共通K P I

### 2 投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン/リスク・リターン (2/3) (2022年3月末)

- 2022年3月末時点の預り残高上位20銘柄の平均コスト**0.83%**、平均リスク**8.44%**に対して、平均リターンは**5.55%**となりました。



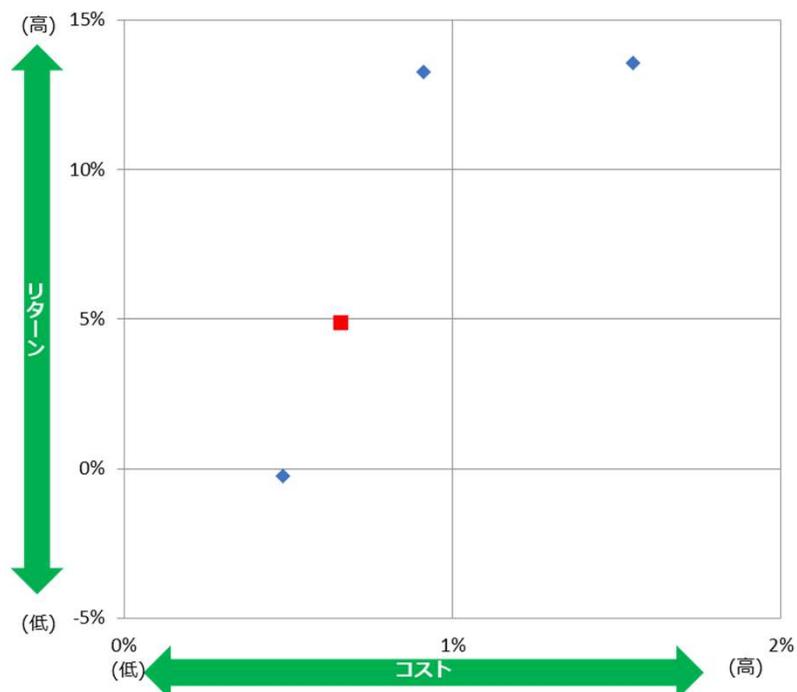
※ 各ファンドのコスト・リスク・リターンは、次のページに記載しております。  
※ 赤い点は平均値を示しています。

## Ⅱ.比較可能な共通K P I

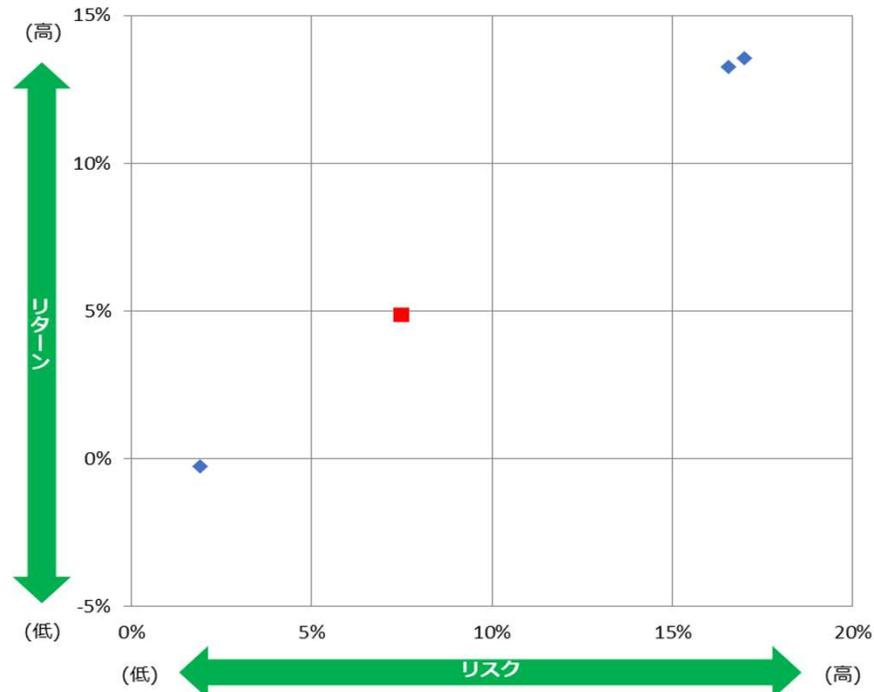
### 2 投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン/リスク・リターン (3/3) (2021年3月末)

- 2021年3月末時点の預り残高上位20銘柄の平均コスト**0.66%**、平均リスク**7.48%**に対して、平均リターンは**4.88%**でした。

<預り残高上位20銘柄のコスト・リターン>



<預り残高上位20銘柄のリスク・リターン>



※ 各ファンドのコスト・リスク・リターンは、次のページに記載しております。  
※ 赤い点は平均値を示しています。

## Ⅱ.比較可能な共通K P I

### 2 投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン/リスク・リターン (1/3) (2023年3月末)

	ファンド名	運用会社	リターン (年率)	リスク (年率)	コスト 全体
1	つみたてNISA米国株式 S&P500	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	15.05%	17.74%	0.50%
2	セゾン資産形成の達人ファンド	セゾン投信(株)	9.73%	17.50%	1.54%
3	日米6資産分散ファンド(資産形成コース)	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	3.16%	9.68%	1.16%
4	JA日本債券ファンド	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	-0.72%	2.06%	0.26%
5	長期厳選投資 おおぶね	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	14.48%	15.74%	1.43%
6	セゾン・グローバルバランスファンド	セゾン投信(株)	7.18%	9.92%	0.58%
7	つみたてNISA日本株式 日経225	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	7.26%	17.10%	0.39%
8	日米6資産分散ファンド(安定運用コース)	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	-0.34%	3.81%	1.16%
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					
	残高上位20ファンドの残高合計/残高加重平均値		9.87%	14.33%	0.90%

※ 2023年3月末基準時点における共通K P Iの対象となるファンド数は8本となります。

※ 当指標は、設立から5年が経過したファンドを対象として、リターン・リスク・コストを算出して表示しております。

## Ⅱ.比較可能な共通 K P I

### 2 投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン/リスク・リターン (2/3) (2022年3月末)

	ファンド名	運用会社	リターン (年率)	リスク (年率)	コスト 全体
1	J A日本債券ファンド	農林中金全共連アセットマネジメント (株)	-0.26%	1.70%	0.26%
2	セゾン資産形成の達人ファンド	セゾン投信 (株)	12.81%	16.91%	1.54%
3	セゾン・グローバルバランスファンド	セゾン投信 (株)	8.19%	9.42%	0.58%
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					
	残高上位20ファンドの残高合計/残高加重平均値		5.55%	8.44%	0.83%

※ 2022年3月末基準時点における共通 K P I の対象となるファンド数は3本となります。

※ 当指標は、設立から5年が経過したファンドを対象として、リターン・リスク・コストを算出して表示しております。

## Ⅱ.比較可能な共通K P I

### 2 投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン/リスク・リターン (3/3) (2021年3月末)

	ファンド名	運用会社	リターン (年率)	リスク (年率)	コスト 全体
1	J A日本債券ファンド	農林中金全共連アセットマネジメント (株)	-0.26%	1.91%	0.48%
2	農中日経225オープン	農林中金全共連アセットマネジメント (株)	13.27%	16.56%	0.91%
3	セゾン資産形成の達人ファンド	セゾン投信 (株)	13.55%	16.99%	1.55%
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					
	残高上位20ファンドの残高合計/残高加重平均値		4.88%	7.48%	0.66%

※ 2021年3月末基準時点における共通K P Iの対象となるファンド数は3本となります。

※ 当指標は、設立から5年が経過したファンドを対象として、リターン・リスク・コストを算出して表示しております。